

おけうり

令和4年5月16日(月) 第3号 (発行者: 校長・大木 淳)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)



<校章の由来>
外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



「特別な1年」

25日/204日が経過しました



ゴールデンウィークも足早に過ぎてしまいました。次の連続したお休みはいつかな、とカレンダーをめくると、7月の3連休までありません。みんなで健康に留意しながら、それぞれが頑張っていくしかないな、と思っております。

先を見ると長いようですが、4月6日から5月16日までの日数を数えますと、すでに25日を経過していることがわかりました。松尾芭蕉が「奥の細道」の冒頭で「月日は百代の過客にして行き交う年もまた旅人なり」と言っているとおりです。

令和4年は本校にとって「特別な1年」ですが、特別なイベントを開催するのではなく、粛々と創意工夫をしながら教育活動を進めているところです。いくつかを紹介いたします。

■ お花見給食 5月2日(月)



4月のうちに実施しようと計画していましたが、天候不良のために延期していましたが、校庭の西側にある八重桜が見頃になっているところを見計らって、実施しています。天気は良かったのですが、吹いてくる風がちょっと冷たかったようでした。

■ 学校園打合せ 5月6日(金)

長年、学校園の野菜作りでお世話になっている根本さんにおいていただき、今年の学校園で栽培する野菜や苗植えの手順などを教えていただきました。今年は、定番のサツマイモとかぼちゃに加えてごぼうやキャベツにも挑戦したい、とのことでした。

準備段階で、前PTA会長の長谷川さんには、早々に学校園の耕耘を行っていただきました。ありがとうございました。



■ ふれあい弁当デー 5月9日(月)



心身の健康を支えるために食は必要不可欠であり、食に関する意識を高め食生活を見直すことが求められています。

学校給食における取組の他、栄養バランスに配慮した食生活を実践することをめざして、ご家庭の方と一緒に弁当を作る活動を年2回実施します。

☆ 児童の感想 ☆

お母さんに教えてもらいながら、お弁当を作ることができました。特に卵焼きはたくさん練習したので、1回でできました。そこにニラも入れました。

■ 合同避難訓練 5月11日(水)

「1000年に1度の大災害」と言われた東日本大震災から11年が過ぎました。直近では、3月16日(水)の深夜には震度5強の地震が発生し、翌日は臨時休校になるほどでした。高速道路や新幹線の橋脚などに被害が出ましたが、本校のライフラインや消防・防犯設備には影響を及ぼしませんでした。

「地震を防ぐことはできませんが、被害を減らすことはできるので、真剣に訓練をしなければなりません。今回も全員が真剣に取り組めたこと、たいへん良かったです」と、嶋原校長先生から講評をいただきました。



■ すこやかタイム 5月11日(水)



児童の心身の状態を把握するために、月1回、すこやかタイムを実施してまいります。

「どのくらい成長したかな? 発育測定の結果を見てみよう」とテーマを設けて、成長曲線シートを使って、身長と体重とのバランスを視覚的に理解できるようにしました。

今後も今回の取組を継続していくとともに、悩みや困り感などについても、気軽に相談できる機会として設定していきたいと考えています。

■ 小白井探検 5月13日(金)

完成間近となった「川前町観光地ブック」に掲載するために、小白井地区にある神社とアニメの素材のような樹木の調査・観察に行ってきました。霧雨が降るあいにくの天気か、と思いましたが、実際に行ってみると、それがたいへん神々しい雰囲気醸し出していました。また、樹木の下で傘をさして眺めている様子は、まさにアニメの1コマのようでした。

せっかくの機会なので、神社の近くにある小白井中学校にあいさつに行きました。突然の訪問をしてしまったので「今日何か行事があったのか?」と先生方をあたふたさせてしまいました。



[小白井中の先生方と一緒に…]



[大きな木の下でトト〇を待つ心境]



[霧雨が神々しさを演出していました]